



前進座創立90周年記念公演



一万石の殿様が
長屋の娘に片思い?!
生きるか死ぬかで大騒ぎ、
笑う門には福来たる!

劇場を笑いの渦に巻き込む! 「山田洋次×前進座」による舞台最新作!



赤井綱門守國使 河原崎國太郎



赤熊軍十郎 益城孝次郎



田中三太夫 藤川矢之輔



徳兵衛 山崎三郎



清吉 柳家三郎



八五郎 嵐芳三郎



お鶴 有田佳代



おかね婆 河原崎國太郎(二世)

監修=山田洋次 脚本=山田洋次・朱海青 演出=小野文隆
いちまんごく

恋の一万石

うらながやそうどうき 裏長屋騒動記 かなでほん 恋の仮名手本篇

2021年11月16日(火) 荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)

14:00開演(13:30開場) ◆ご観劇料金◆ 5,500円 全席指定

主催: 劇団前進座全国公演事務所 ☎0422-49-2633 (平日10:00~17:00)

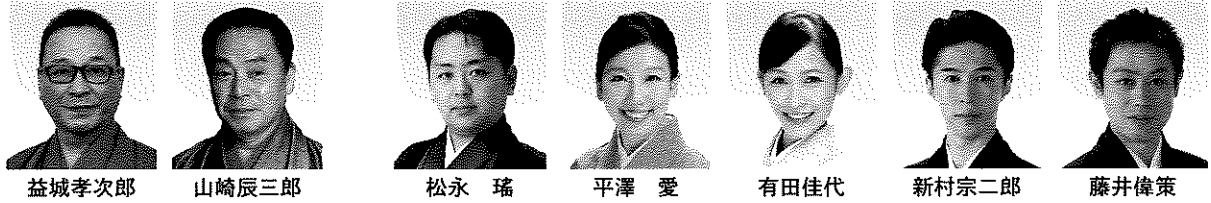
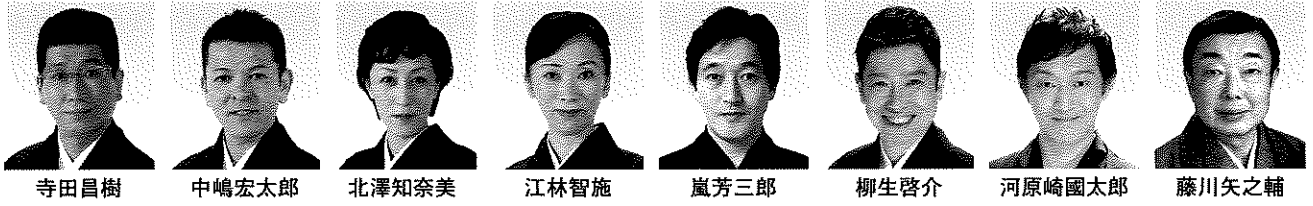
監修=山田洋次
脚本=山田洋次・朱海青
演出=小野文隆

一万石の恋

いちまんごく
うらながやそうとつき
裏長屋騒動記
かなでほん
恋の仮名本篇

「男はつらいよ」寅さんシリーズでおなじみの山田洋次監督が、
コロナとたたかう日本中の皆様にお届けする舞台最新作!

古典落語「妾馬」を題材に、長屋の娘に片思いするお殿様の、ちょっぴり切なく、とびきり可笑しい、「恋の不時着」物語。
ハチャメチャな長屋の住人の価値観と愛を貫く娘の真心がぶつかって、抱腹絶倒の喜劇誕生!



装置 中嶋正留 照明 石島奈津子
音楽 中島千絵 効果 川名あき
デザイン 市川きよあき事務所 イラスト 斎藤美空子ポツフォード
制作 楠屋厚子・森田 賢

新しい物語を生み出すこととなった。古典落語「妾馬」が題材だが、この「一万石の恋」では落語とは真逆の結末が待っていて、愛する人のためには命を投げ出す覚悟の乙女の宣言に、愚かな殿様やアホな家臣たち、そして無責任な長屋の住人たちが、ドタバタ騒ぎを演じることになる。

長屋の井戸端で交わされる可笑しい会話や、恋人同士の甘いラフシーンに、胸をワクワクさせてほしい。そして、マスクの下から思わず漏れる笑い声で会場が満たされることを期待して、前進座の皆さんと一緒に汗をかこうと思う。



山田洋次監督からのメッセージ
一生懸命準備した大切な芝居を、ステージに乗せられなくなるという、異様な事態が演劇人を苦しめ続けている。そんな状況下でありながら、この秋、前進座の皆さんと再び

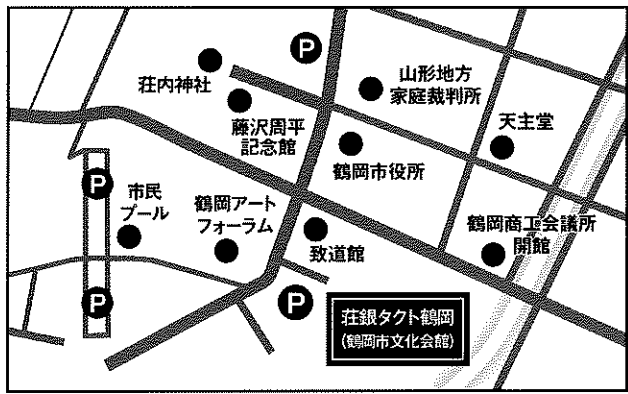
●あらずし
一万石の弱小藩のお殿様・赤井御門守国定は、女嫌いの芝居好き。今日も今日とて江戸藩邸で、お小姓相手に芝居「ごっこ」のままでお世継ぎもなく、藩はお取り潰し…家臣たちは頭が痛い。

そんなある日、お殿様は下城途中で腹痛をおこし、掃き溜めのような裏長屋で粗末な厠を借りる羽目に、「これ手水を持って…」おずおずとひしゃくの水を差した長屋の娘・お鶴に、お殿様は一目惚れ。家臣たちは大喜び「すぐさまあの娘を召し抱えろ!」。話を聞いたお鶴の母や兄をはじめ、長屋一同も「大変な出世だ」「支度金がたんまり下される」と盛り上がる。

ところがお鶴には将来を約束した若者が…。「あの人と一緒になれないなら私は死ぬよ!」—命がけの恋を前に、周りの説得も無力。しかしお断りしたらどんなお咎めを受けることやら…震えあがった長屋一同が窮地を脱するべくひねり出した奇策とは!?

2021年 11月16日(火) 14:00開演 (13:30開場) 莊銀タクト鶴岡 (鶴岡市文化会館)

- 後援: 山形新聞社
- 協力団体(チケットお取り扱いあり):
医療生活協同組合やまがた
生活協同組合 共立社(組織部 ☎0235-22-5111)
全日本年金者組合鶴岡田川支部
鶴岡市民劇場(☎0235-24-6560)
前進座「一万石の恋」公演を観る酒田の会
(佐藤正一 ☎070-5321-1551)
- プレイガイド: 莊銀タクト鶴岡
☎0235-24-5188



莊銀タクト鶴岡へのアクセス
◇バス: JR鶴岡駅より約10分
「市役所前」下車 徒歩1分
◇車: 山形自動車道 鶴岡I.C.より約10分

※本公演は、関係各所の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿って十分な対策を講じて実施致します。
また、まん延状況への対策により、公演開催や内容が変更になる場合がございます。
お客様におかれましてはマスクの着用、手指の消毒、検温の実施などにご協力ください。